

2024年11月21日(木) 晴れ時々曇り

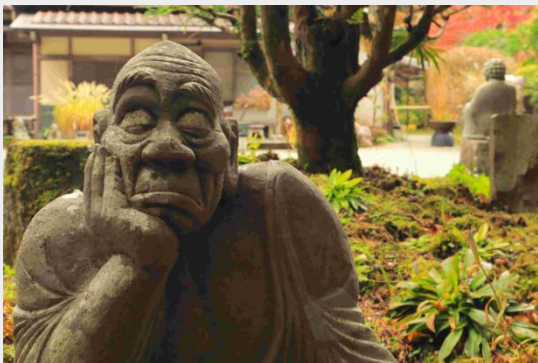
今回は異常気象の影響で箱根の紅葉が遅れた為、一週間の順延を経ての撮影会となった。幸い直前の冷え込みで紅葉が進み、そして心配した天候も運良く好転して当日は最高の撮影条件となった。

総勢6名の参加者は小田原駅東口バス停から午前9時50分発の桃源台行きバスに乗車し、一時間程山道を揺られて仙石案内所前停留所で下車した。本日最初の撮影地の湿生花園はここから徒歩7分。途中のラリック美術館入口付近から秋本番の鮮やかな景色となってきた。一同写欲を感じながら進むうちに湿生花園入り口に到着した。



写真右から 田辺、飯島、倉林、田村、梶原、岡村の各氏

受付で¥500の入園料を払い順路に従い移動しながら撮影を開始した。この時期の園内はリンドウやコムラサキ等の花が咲いていたが主役はやはり紅葉で、湿原には赤・黄・橙の錦が点在していた。感動に浸りながら暫く撮影しているうちに奥地のただ広い野原に辿り着いた。そこには仙石原の山を背景にススキが群生しており、風に揺れる穂が太陽に照らされて一斉に輝いていた。一時間程撮影した後、入口に戻り昼食休憩とした。



長安寺 五百羅漢

昼食後は約15分程来た道に戻り、次の目的地の曹洞宗長安寺を目指した。長安寺はバス通りから少し奥まった場所に在り、入口から紅葉や黄葉の参道が奥まで続く閑静な雰囲気のある寺院であった。

参道突き当りの本堂を左に回り込むと、左手の丘陵斜面に五百羅漢の石像が点在しているのが目に入った。そこに色付いた木々が羅漢像を見下ろす絶好の被写体が待っていた。一方、右手本堂の背後は鮮やかな紅葉に彩られており、石仏との絶妙な組合せ作品作りが期待出来る。

早速一同は境内に散らばり、構図を工夫しながら夢中でシャッターを切った。此处では事前に決めた集合時間までの一時間を目一杯使って大いに撮影を楽しむことが出来た。

帰路は往路と異なるルートを使い箱根登山バスで強羅駅に移動して、そこから箱根登山電車に乗り換えて16時頃に小田原駅に到着した。

それから駅近の昼飲み可能な店を探し当てて、反省会に移行した。撮影の余韻に浸りながら一盛り上がりしてから、2時間後に散会して充実した撮影会を終了した。

(次頁以降に参加者の作品を添付)

今回の参加者(敬称略): 6名

飯島 和夫(横浜支部)、倉林 弘行(平塚支部)、田辺 宏(同左)  
梶原 譲(厚木支部)、田村 雅男(同左)、岡村 守之(同左)

湿生花園



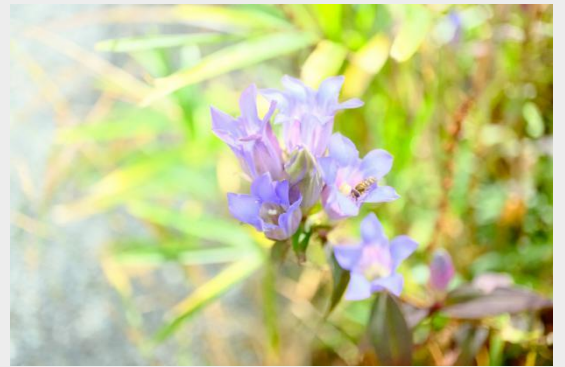
岡村 守之



梶原 護



岡村 守之



田辺 宏



田村 雅男



飯島 和夫



田村 雅男

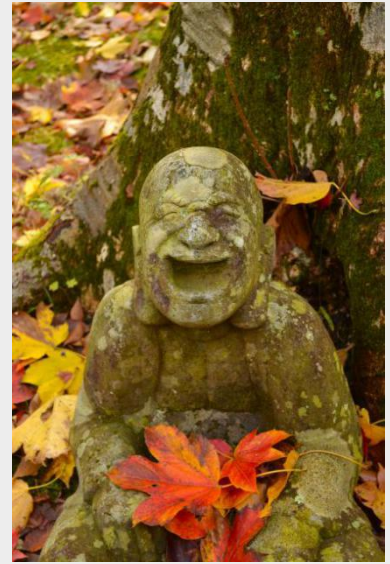


倉林 弘行

長安寺



梶原 護



倉林 弘行



飯島 和夫



田村 雅男



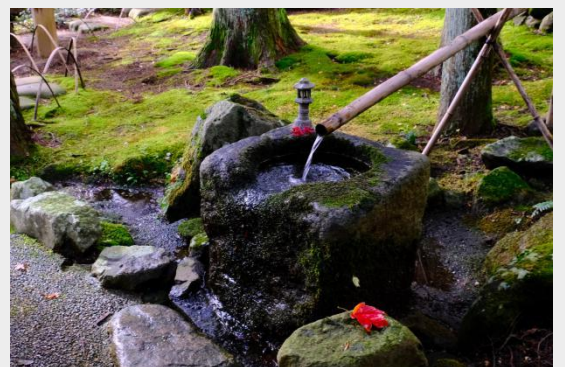
田辺 宏



岡村 守之



岡村 守之



田辺 宏